



●新幹線鳥飼基地と新幹線公園

■新幹線鳥飼基地

新幹線鳥飼基地は、正式名「大阪第一・第二・第三車両所」と言います。JR東海の西の拠点となる車両基地で、三つの車両所がそれぞれ役割を分担し、新幹線車両のきめ細かな検査を行っています。東西約2km、南北約230m、面積37万 m^2 （甲子園球場の9倍）で、新幹線車両を約680両収容できます。

東京から西下してきた列車の整備・点検を行うほか、山陽新幹線のみを走るJR西日本の「ひかりレールスター」「こだま」などの車両も入ってきますので、東海道山陽新幹線を走るほぼすべての車両が見られる貴重なスポットでもあります。



■新幹線公園

新幹線公園は安威川と新幹線鳥飼基地に隣接するJR貨物ターミナルとの間の安威川堤防上にあり、新幹線車両と電気機関車を展示しています。

展示している車両は、毎月第2・第4日曜日の午前10時から12時と午後2時から4時の一日2回公開しています。この時には、車内はもちろんのこと運転席に座ることもでき、子供たちに大人気です。

新幹線車両は、昭和44年に製造され、16両編成の先頭車両の1号車として、東京—新大阪—博多間を昭和59年10月27日まで約532万km（地球を約133周する距離）を走り役目を終えたのち、この新幹線公園に来ました。

また、これと同じ型の初代新幹線「0系」車両が鉄道発祥の地イギリスのヨーク国立鉄道博物館で「高速鉄道コーナー」の目玉として展示されています。

電気機関車の車両は、戦後の代表的な機関車で最も多く製造されたものの1つで、昭和29年に製造され東



海道本線高崎線で貨物用として働き、昭和45年より昭和58年1月に廃車されるまで阪和線、紀勢線で紀州特産のみかん輸送等に活躍していました。



また、中央環状線と新幹線公園の間の約400mは桜のシーズンとなると、きれいなさくらのトンネルとなり、多くの人でにぎわいます。

新幹線鳥飼基地までは、モノレール摂津駅、南摂津駅から徒歩15分。近鉄バス、阪急バス「鶴野橋」下車、すぐ。新幹線公園までは、モノレール摂津駅から徒歩10分、南摂津駅から徒歩20分。近鉄バス、阪急バス「鶴野橋」下車、徒歩5分。



▼お問い合わせ先▼

摂津市市長公室政策推進課

TEL 06-6383-1111 (内線 2143)